

# 福井大学工業会 令和元年度海外渡航助成一覧

## 令和元年度前期

学科・専攻・学年・氏名	渡航目的・研究発表テーマ	渡航先・期間・経費	助成額
①博士前期課程 機械工学専攻 2年 宮野 峻介 (指導教員 鞍谷 文保)	会議 13th International Conference on Recent Advances in Structural Dynamics 論文 熱可塑性樹脂の超音波溶接における接合面の動的挙動に及ぼす固定具との接触面積の影響の研究	フランス (リヨン) H31.4.13 ~ H31.4.19 257,000 円	60,000 円
②博士前期課程 機械工学専攻 1年 横田 佳祐 (指導教員 本田 知己)	会議 STLE 2019 Annual Meeting 論文 すべり軸受に使用されている樹脂オーバーレイの高温環境下における摩擦摩耗特性を解明し、今後の開発指標を提示	アメリカ (ナッシュビル) R1.5.18 ~ R1.5.25 291,000 円	60,000 円
③博士前期課程 機械工学専攻 1年 八木 涉 (指導教員 本田 知己)	会議 STLE 2019 Annual Meeting 論文 エンジンオイルなどに添加する添加剤の中でも添加剤の分子が摩擦する表面に吸着することで摩擦係数を軽減させる吸着型摩擦調整剤の研究	アメリカ (ナッシュビル) R1.5.18 ~ R1.5.25 291,000 円	60,000 円
④博士前期課程 知能システム工学専攻 1年 武田 康司 (指導教員 田中 完爾)	会議 2019 IEEE Intelligent Vehicles Symposium 論文 自己運動推定と情景推定のメリット・デメリットを補完した手法による交差点分類問題の研究と提案	フランス (パリ) R1.6.7 ~ R1.6.14 309,000 円	60,000 円
⑤博士前期課程 知能システム工学専攻 2年 宮島 拓也 (指導教員 藤垣 元治)	会議 The ICEE Conference 2019 論文 サンプリングモアレ法を組み込んだ特殊カメラを用いて圧縮試験における試験体のひずみ分布の作成と研究	中国 (香港) R1.7.03 ~ R1.7.07 163,800 円	30,000 円
⑥博士前期課程 知能システム工学専攻 1年 鈴木 壮大 (指導教員 藤垣 元治)	会議 International Conference on Optical and Photonic Engineering 2019 論文 プロジェクションマッピングをすることで計測結果の座標確認の手間を省き、計測から投影までを高速にするシステムの開発	タイ (プーケット) R1.7.13 ~ R1.7.21 180,400 円	30,000 円
⑦博士前期課程 機械工学専攻 2年 大西 祐太 (指導教員 太田 貴士)	会議 AJK Joint Fluids Engineering Conference 2019 論文 詳細反応機構を用いた乱流境界層における水素混合燃焼の乱流燃焼場メカニズムを明らかにする研究	アメリカ (サンフランシスコ) R1.7.28 ~ R1.8.03 341,000 円	60,000 円
⑧博士前期課程 機械工学専攻 2年 故木 翼 (指導教員 本田 知己)	会議 Leeds Lyon Symposium on Tribology 2019 論文 数値解析からディンプル (くぼみ) の形状や配列の変化に伴う油膜圧力の変化を調べ、それに基づく表面改質技術の設計手法の提案	フランス (リヨン) R1.8.31 ~ R1.9.06 311,000 円	60,000 円
⑨博士前期課程 生物応用化学専攻 2年 紅林 航平 (指導教員 寺田 聡)	会議 The 5th European Congress of Applied Biotechnology 論文 細胞が生産する抗体の生産性を向上させるために、細胞活性化因子の利用と培地中グルコースの適切制御により3倍向上させた実験	イタリア (フィレンツェ) R1.9.14 ~ R1.9.22 325,000 円	60,000 円
⑩博士前期課程 生物応用化学専攻 2年 澤 保 (指導教員 沖 昌也)	会議 Future of Biomedicine 2019 Conference 論文 糖白内障治療の予防と治療に効く HAT (ヒストンアセチル化酵素) 阻害剤の作用と分子機構をインフォマティクス解析によって解明	ロシア (ウラジオストク) R1.9.17 ~ R1.9.22 129,000 円	30,000 円
⑪博士前期課程 生物応用化学専攻 2年 田中 元基 (指導教員 沖 昌也)	会議 Future of Biomedicine 2019 Conference 論文 SIR 欠損株を用いて、酵母の全遺伝子の発現量をマイクロアレイ解析により、X線抵抗メカニズムに関する遺伝子を抽出し分析報告	ロシア (ウラジオストク) R1.9.17 ~ R1.9.22 129,000 円	30,000 円
⑫博士前期課程 生物応用化学専攻 1年 金田 真奈 (指導教員 沖 昌也)	会議 Future of Biomedicine 2019 Conference 論文 X線照射による SIR 遺伝子破壊と生存率の影響の違いからヘテロクロマチンに関わる因子の新たな機能の研究	ロシア (ウラジオストク) R1.9.17 ~ R1.9.22 138,200 円	30,000 円
⑬博士前期課程 生物応用化学専攻 1年 木本 紗希 (指導教員 沖 昌也)	会議 Future of Biomedicine 2019 Conference 論文 一細胞系を使ってエピジェネティックに発現する遺伝子 DD12,3 の制御因子についての解析	ロシア (ウラジオストク) R1.9.17 ~ R1.9.22 138,200 円	30,000 円

前期助成額 (13名) 計 600,000 円

母校だより

令和元年度後期

学科・専攻・学年・氏名	渡航目的・研究発表テーマ	渡航先・期間・経費	助成額
①博士前期課程 建築建設工学専攻 1年生 越季理 (指導教員 石川浩一郎)	会議 IASS Symposium 2019 Form and Force 論文 貝殻の建築構造物への応用として力学的特性を把握するため CT 撮像を行い、画像有限要素解析をし、応力分布と主応力線図を取得し、考察を行った。	スペイン (バルセロナ) R1.10.6 ~ R1.10.14 314,000 円	60,000 円
②博士前期課程 知能システム工学専攻 2年生 形川雅文 (指導教員 高橋 泰岳)	会議 Airborne Wind Energy Conference 論文 風の発電では 8 の字飛行が重要だが、制御が難しい。そこで風の姿勢角度に応じて操作を変える切替制御 (ヒステリシス制御) を用いて 8 の字飛行を実現した。	イギリス (グラスゴー) R1.10.13 ~ R1.10.18 311,684 円	60,000 円
③博士前期課程 生物応用化学専攻 2年生 堀生実 (指導教員 小西 慶幸)	会議 Neuroscience 2019 論文 神経細胞内のミトコンドリアとプレシナプスの分布を比較することでミトコンドリアがプレシナプスの形成に関与する可能性を発見し、神経回路形成に重要な知見を得た。	アメリカ (シカゴ) R1.10.18 ~ R1.10.24 234,000 円	60,000 円
④博士前期課程 知能システム工学専攻 2年生 山口幸祐 (指導教員 田中 完爾)	会議 IEEE Intelligent Transportation Systems Conference (ITST 2019) 論文 自動解析ベースの異常検知と画像圧縮の利点を組合せた新しい効率的な変化検出フレームワークを導入し、大規模画像変化検出のための再帰的背景モデリングの有効性を検証。	ニュージーランド (オークランド) R1.10.25 ~ R1.10.31 284,000 円	60,000 円
⑤博士前期課程 情報・メディア工学専攻 2年生 西出和生 (指導教員 藤元 美俊)	会議 International Symposium on Antennas and Propagation (ISAP) 論文 遅延波が存在する環境で参照信号と入力信号の誤差を最小にするため、遅延プロファイルを用いて参照信号を再構築し、所望の指向性を形成し有効性を示せた。	中国 (西安) R1.10.27 ~ R1.10.31 125,563 円	30,000 円
⑥博士前期課程 情報・メディア工学専攻 2年生 森本和明 (指導教員 藤元 美俊)	会議 International Symposium on Antennas and Propagation (ISAP) 論文 8K の地上波放送で偏波 MIMO 伝送を用いる場合について、中継伝送の必要性和効果を明らかにした。	中国 (西安) R1.10.27 ~ R1.10.31 110,563 円	30,000 円
⑦博士前期課程 情報・メディア工学専攻 1年生 立神光洋 (指導教員 藤元 美俊)	会議 International Symposium on Antennas and Propagation (ISAP) 論文 第 5 世代移動通信システムで、圧縮センシングによる到来方向推定では制度が劣化する。サブアレーと固有ビームを用いた推定法を提案し、実測の評価での有効性を示せた。	中国 (西安) R1.10.27 ~ R1.10.31 131,025 円	30,000 円
⑧博士後期課程 総合創成工学専攻 2年生 清水洸佑 (指導教員 玉井 良則)	会議 International Conference on Molecular Simulation (ICMS 2019) 論文 分子動力学シミュレーションにより調べられた結晶性高分子膜の表面における溶解度と拡散のデータで表面の効果を考察した。	韓国 (済州) R1.11.03 ~ R1.11.07 140,365 円	30,000 円
⑨博士前期課程 機械工学専攻 2年生 伊藤拓矢 (指導教員 鞍谷 文保)	会議 18 <sup>th</sup> Asian Pacific Vibration Conference (APVC 2019) 論文 稼働時のミル壁面の振動と音特性に及ぼす粉砕材料の影響の研究	オーストラリア (シドニー) R1.11.16 ~ R1.11.21 194,106 円	60,000 円
⑩博士前期課程 機械工学専攻 1年生 長谷部友弥 (指導教員 鞍谷 文保)	会議 18 <sup>th</sup> Asian Pacific Vibration Conference (APVC 2019) 論文 コンクリート構造物における回転式打撃法を用いた欠陥検知の効果的指標の研究。	オーストラリア (シドニー) R1.11.16 ~ R1.11.21 194,106 円	60,000 円
⑪博士前期課程 知能システム工学専攻 2年生 多井勤人 (指導教員 黒岩 文介)	会議 The International Symposium on Nonlinear Theory & Its Applications 論文 セルオートマトンに設定された 2 ルールと 3 ルールによるデジタルサウンドデータの圧縮記述性能の比較研究。	マレーシア (クアランブール) R1.12.2 ~ R1.12.7 175,000 円	30,000 円

学科・専攻・学年・氏名	渡航目的・研究発表テーマ	渡航先・期間・経費	助成額
⑫博士前期課程 生物応用化学専攻 2年 窪崎 鈴果 (指導教員 吉見 泰治)	会議 18 <sup>th</sup> Asian Chemical Congress 論文 芳香族カルボン酸からのアリールラジカル生成を基質に安息香酸を用いて、光脱炭酸を経由したアリールラジカル生成及び電子アクセプター性アルケンへの付加を検討した。	台湾(台北) R1.12.07～ R1.12.13 148,449円	30,000円
⑬博士前期課程 生物応用化学専攻 2年 多治見 侑香 (指導教員 吉見 泰治)	会議 18 <sup>th</sup> Asian Chemical Congress 論文 可視光での反応開発を目的として、可視光レドックス触媒であるアントラセン誘導体を合成し、光脱炭酸反応へ応用した。	台湾(台北) R1.12.07～ R1.12.13 148,449円	30,000円
⑭物質生命化学科 4年 浅野 晃子 (指導教員 吉見 泰治)	会議 18 <sup>th</sup> Asian Chemical Congress 論文 高圧水銀灯下での光脱炭酸反応を利用してアルキルラジカルを生成し、様々なカルボン酸とデヒドロアミノ酸を用いて、ユニークな非天然アミノ酸を合成した。	台湾(台北) R1.12.07～ R1.12.13 148,449円	30,000円
⑮物質生命化学科 4年 亀田 健太 (指導教員 吉見 泰治)	会議 18 <sup>th</sup> Asian Chemical Congress 論文 光延反応を用いたマクロラクトン化は高価で有害な試薬が必要である。そこで光誘起脱炭酸によりマクロラクトンを用いた大環状ラクトン合成を試みた。	台湾(台北) R1.12.07～ R1.12.13 148,449円	30,000円
⑯博士前期課程 機械工学専攻 1年 長谷川 恵三 (指導教員 酒井 康行)	会議 The 2 <sup>nd</sup> Pacific Thermal Engineering Conference 論文 レギュラーガソリンを模擬したエタノール等の混合ガソリン代替燃料の燃焼特性に与える影響を化学反応速度論と遷移状態理論に基づいて評価することに成功した。	アメリカ(ハワイ) R1.12.13～ R1.12.19 301,500円	60,000円
⑰博士前期課程 情報・メディア工学専攻 2年 神谷 圭亮 (指導教員 吉田 俊之)	会議 International Workshop on Advanced Image Technology 2020 論文 動画像符号化において、対象フレーム上の三角パッチに対してワーピング補償を選択的に適用する動き補償予測法を提案し、国際規格であるHEVCと比較し有効性を示せた。	インドネシア (ジョグジャカルタ) R2.1.04～ R2.1.09 187,853円	30,000円

後期助成額(17名) 計 720,000円  
前・後期助成額(30名) 合計 1,320,000円



今年2月5日に助成金贈呈式が行われました